

夢だけで終わらせないで！小島市長の政治姿勢を問う？

たけい としお 武井 敏男

問 ①市民と約束した公約に変更があるのか。②マニフェストの優先順位は何か。③市長の現場主義で取り組んだものは何か。④マニフェストの進捗状況を問う。

答 ①中学生の医療無料を掲げていたが、入院のみ無料とし、中学生の通院は有料とした。これ以外に変更はない。②マニフェストに優先順位をつけることは困難。緊急性の高いもの・すぐにできるものを優先的に取り組んでいく。③国や県、企業や大学訪問。各自自治会への現場訪問実施。④事業仕分け2回実施済。企業誘致の推進、寄居スマートインターの早期実現等を進めている。

救急医療体制を問う？

問 小島市長になって救急医療体制の早急な改善は進んでいるのか。

答 救急車での搬送収容時間平均約43分。現場滞在時間平均約20分で前年と同様。二次救急医療圏再編で今年度より深谷市、寄居町に熊谷市、行田市を含め3市1町に拡大。小児科専門医師が深谷赤十字病院へ、現在の毎月2回から来年度より毎週1回派遣となり、年間で52日間に拡大。



救急車

市長の福祉体制を問う？

問 病気予防のための健康診断の機会を増やす具体策を聞きたい。

答 国のがん検診の指針以外で、前立腺がん検診を実施。それ以外のがん検診で対象年齢、頻度を一部拡大実施。

深谷市の事業仕分けとは

よしだ こうたろう 吉田 幸太郎

問 事業仕分けの主たる目的は何か。

答 外部の視点から事務事業を点検・改善することで、財政及び人員の適正配分に反映させる。また、市職員の意識改革を推進することを目的としている。経費節減が主目的ではない。

問 仕分け対象を20事業に絞った経緯は。

答 市の主要事業の中で、外部の意見を聴く必要があるものに絞った。

問 仕分け結果の位置づけと反映は。

答 結果に法的な裏づけはないが、尊重されるべきものと考えている。各担当部で検討し、今後の予算編成に生かしていく。

問 事業仕分けのよかった点と悪かった点は何か。

市民の安全と安心を守るAEDの適切な管理点検は

しみず けんいち 清水 健一

問 心肺停止などの緊急時に使用するAED(自動体外式除細動器)が、緊急時に作動せず死者が出て、国から適切な管理点検の実施指示が出され、メーカーによる10万台以上の自主回収も行われているが、管理を一元化すべきではないか。また、ご厚意で設置している民間とも連携協力するべきと思うが見解は？

答 現在、73カ所の市公共施設にAEDが設置され、点検



AED (自動体外式除細動器)

経済活性化対策

かとう としえ 加藤 利江

問 よかった点は、前向きな意見が多かったことで、悪かった点は準備に時間と経費がかかったことである。人件費を除いて約153万円の経費がかかった。

問 昨年以上に経済は大変厳しい状況にあるが、何か不況対策を考えているのか。

答 市としてできることは実施したい。

秋の事業仕分けについて

問 判定結果が不要となった事業あるいは要改善となった事業について①ユニバーサルデザイン促進事業について②おむつサービス事業について③自治会活動振興事業の中の報償費が廃止になっているが、④中央土地区画整理推進事業について⑤祭りの補助金については、なぜ仕分けの対象としないか。

答 ①今回の結果を受け、検討していきたいと思う。②今後については市の財政状況を考慮しながら研究していく。③今後検討していく。④現在、

『救急医療体制』の改善

よしあか のぶひこ 吉岡 信彦

救急車の現状は？

問 救急車が到着しても、受け入れ先の都合で長時間出発できないことが多々あった。今春の県による医療圏区割り変更を経て現況はどうか。

答 変更により二次救急病院が2から8に増えた。最近の長時間待機は2時間程度のことともあったが、患者の状態により救命士が手当てをしながらという状態であり、一概に遅いとは言えないものである。

深谷赤十字病院の現状

問 医師不足が声高に叫ばれている。実態はどうか？

答 99名体制が理想で、73名は最低限必要とされる人数だが、現状は65名だそうである。

問 知事・小泉代議士・医師会・市長の連携による医師不足解消策の成果は？



秋の事業仕分け

問 大きく改善してほしい。

答 主催者である自治会連合会各支会の方と協議し、より充実した内容で開催できるように、働きかけていく。

市長決裁について

問 市長決裁はどのように行われているのか聞きたい。

答 決裁については、決裁区分に基づき実施している。



深谷赤十字病院



市内小学校校庭

一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。